

「主体的・対話的で深い学び」の実現

学びに向かう力  
人間性等

どのように社会・世界と関わり、  
よりよい人生を送るか

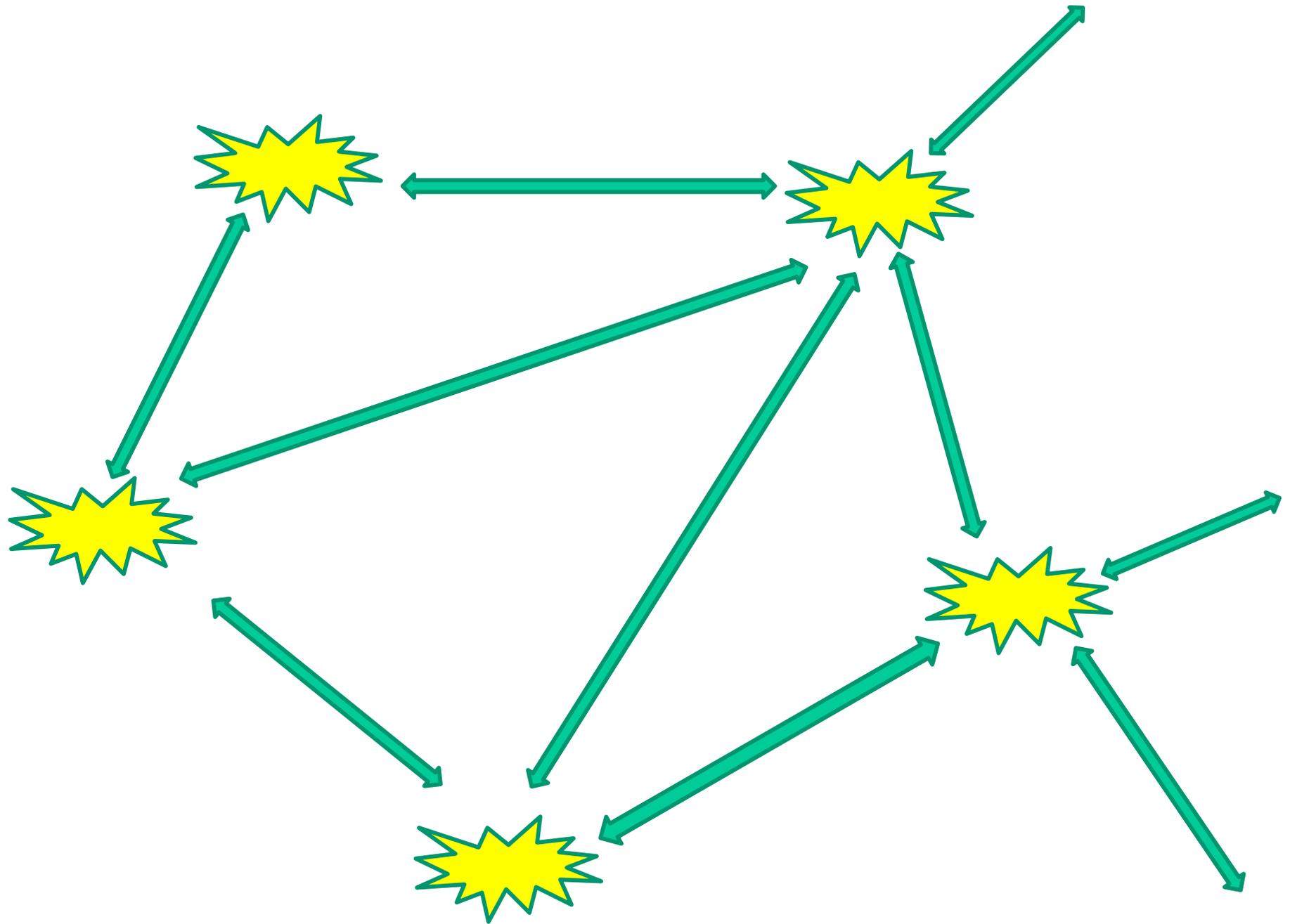


何を理解しているか  
何ができるか

知識・技能

理解していること・できる  
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等



知のネットワーク化(精緻化)

知識・技能が目的や価値、手応えとつながる

学びを人生や  
社会に生かす

学びに向かう力  
人間性等

「深い学び」とは、知識・技能が関連付いて構造化されたり身体化されたりして高度化し、**駆動する**状態に向かうこと



知識・技能

生きて働く

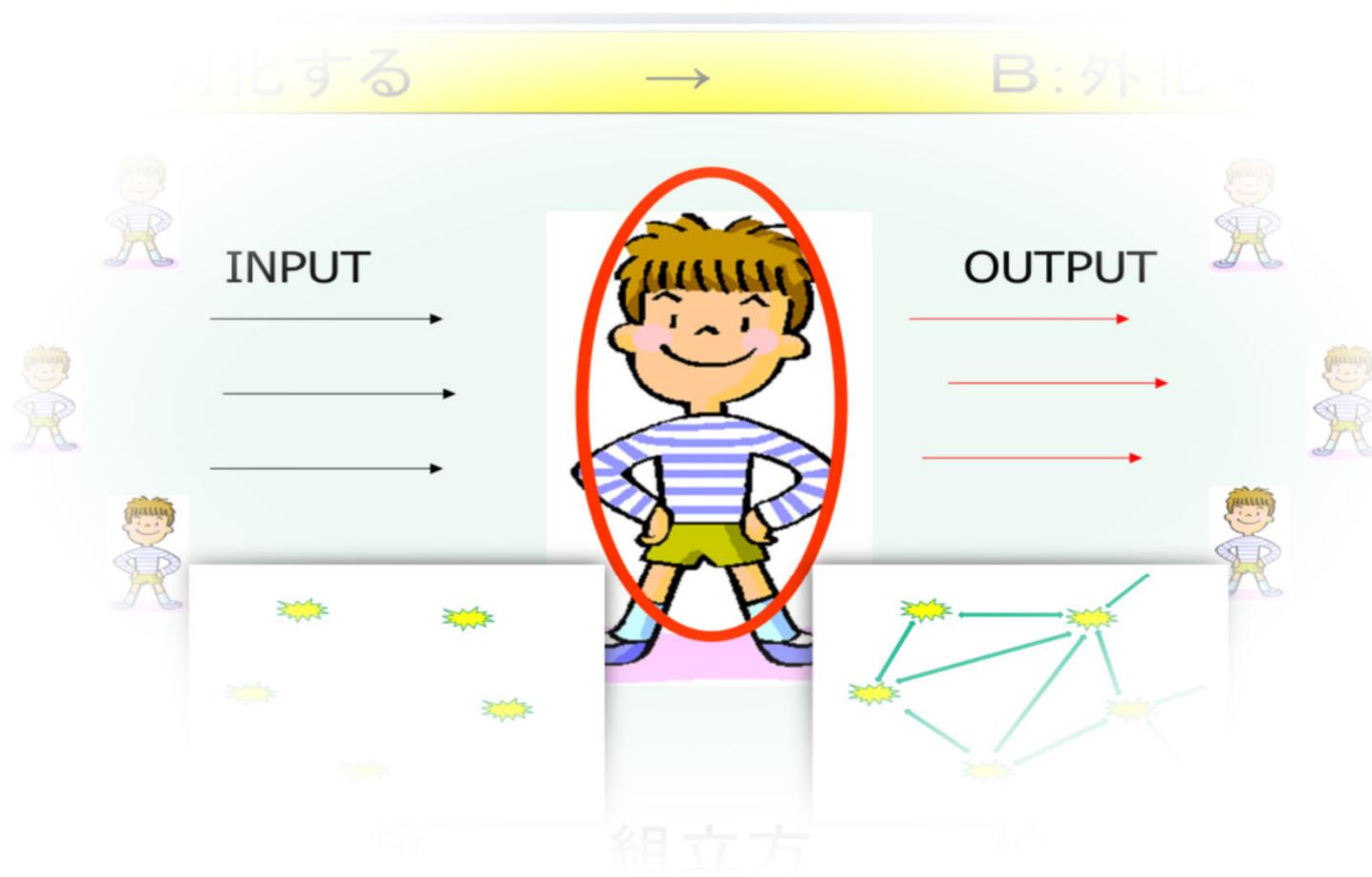
思考力・判断力・表現力等

知識・技能が相互につながり  
(空間・時間)

未知の状況で  
活用できる

知識・技能が場面や状況とつながる

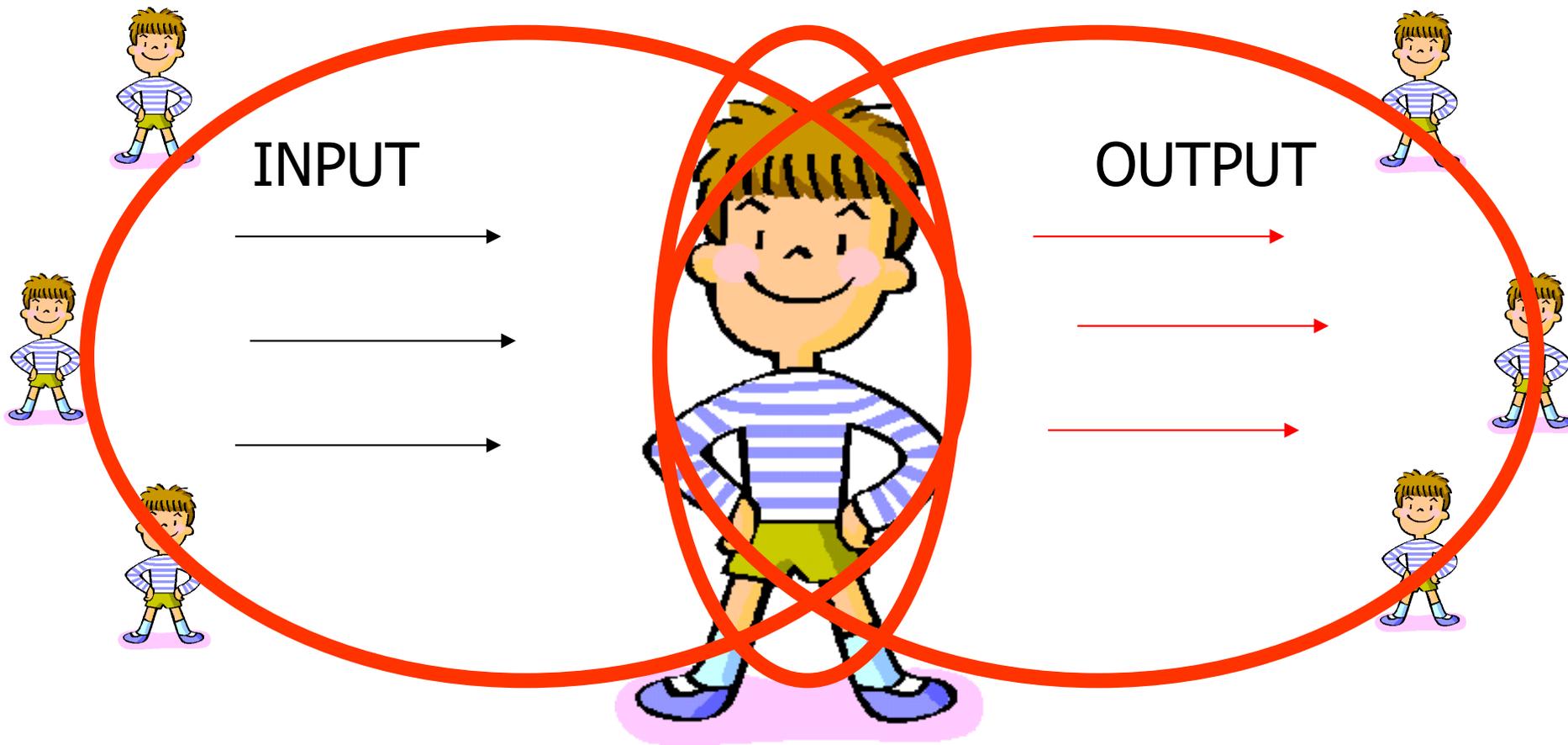
# デジタル学習基盤における「深い学び」の可能性(例)



A:内化する



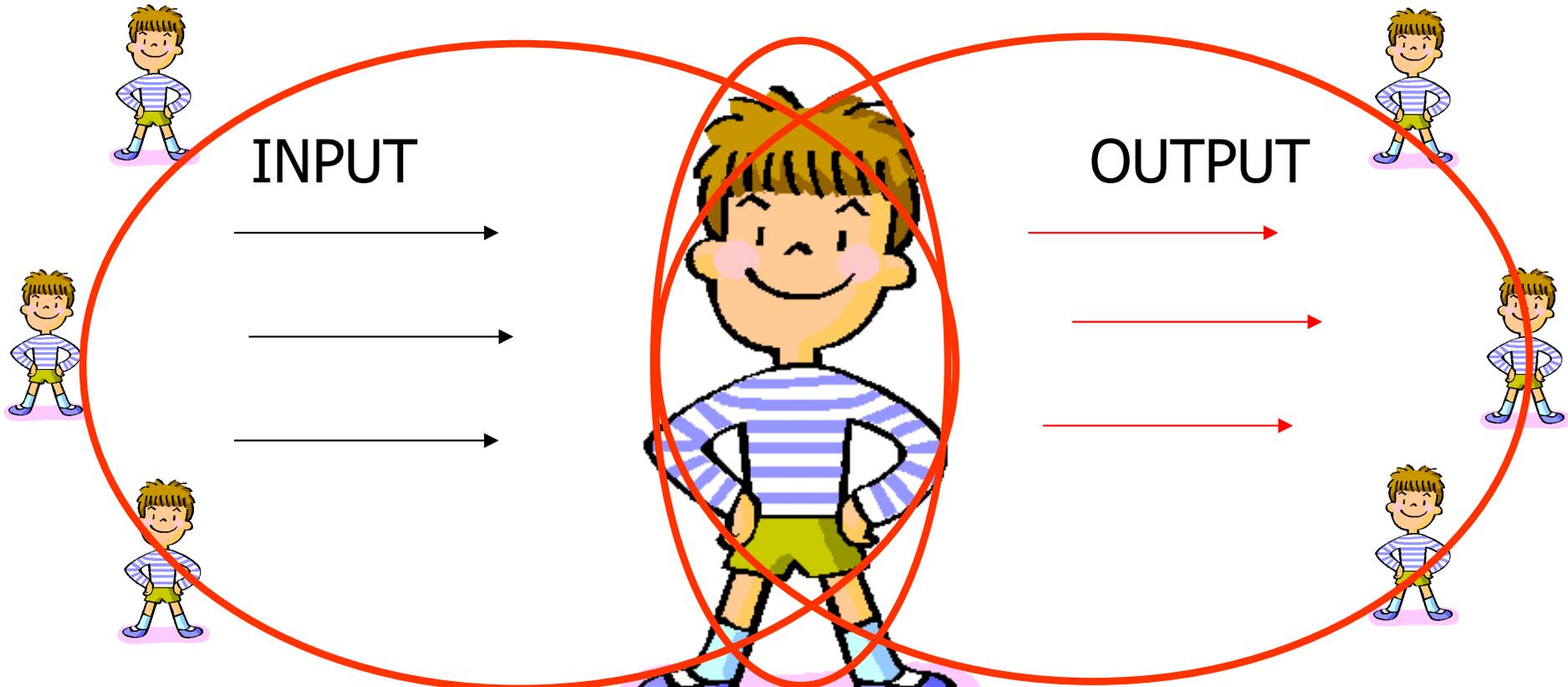
B:外化する



A:内化する



B:外化する



1. 大量で多様な情報を高速で入手すること

2. 可視化と操作化で知識が関連付くこと

3. データの蓄積と検索、外化で精緻化すること

4. 入力し出力するプロセスが頻回すること



「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実



「格差」 「浅さ」

# 今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会 論点整理

令和6年9月18日

## 4. 多様な個性や特性、背景を有する子供たちを包摂する柔軟な教育課程

### (1) 現行の「個に応じた指導」の記述と充実の在り方

○現行の学習指導要領においても、児童生徒の発達の支援の観点から「個に応じた指導」は重要視され、個別学習やグループ別学習など、一定の指導方法の具体例の記載もあるが、令和3年1月26日中央教育審議会答申の趣旨等も踏まえると、学習者自身が主体的に学習を調整していく観点からの記述が不足。

○子供が興味・関心や能力・特性等に応じて自ら教材・方法・ペース等を選択できる学習環境を教師が適切にデザインすることなど、学習者が主体的に学ぶ中で自ら学習を調整しつつ資質・能力を身につけることの重要性やその中で教師が発揮すべき指導性について、具体的に議論し、位置付けを検討すべき。

○多様な個性・特性を有する全ての子供に資質・能力を育成する上で子供一人一人を見取り、適切な指導や関わりを行う教師の指導性はより積極的かつ高度なものが求められるし、時には教師が主導することが重要な場面もある。「教師は教えなくてもいい」「全て子供に委ねればよい」といった誤ったメッセージとして伝わることのないよう、最大限の注意を払うべき。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実により  
多様な子供達を誰一人取り残さずに資質・能力の育成を図る指導性

- ①教師の意識
- ②子供の実態
  
- ③グランドデザイン・単元配列表
- ④年間指導計画・単元計画
- ⑤学習指導・授業づくり
- ⑥学習環境・場づくり
- ⑦ICTの利活用(デジタル学習基盤)
  
- ⑧学級経営・集団づくり
- ⑨学習習慣・学習規律 など

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実により  
多様な子供達を誰一人取り残さずに資質・能力の育成を図る指導性

- ①教師の意識
- ②子供の実態
  
- ③グランドデザイン・単元配列表
- ④年間指導計画・単元計画
- ⑤学習指導・授業づくり
- ⑥学習環境・場づくり
- ⑦ICTの利活用(デジタル学習基盤)
  
- ⑧学級経営・集団づくり
- ⑨学習習慣・学習規律 など

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実により  
多様な子供達を誰一人取り残さずに資質・能力の育成を図る指導性

- ①教師の意識
- ②子供の実態
  
- ③グランドデザイン・単元配列表
- ④年間指導計画・単元計画
- ⑤学習指導・授業づくり
- ⑥学習環境・場づくり
- ⑦ICTの利活用(デジタル学習基盤)
  
- ⑧学級経営・集団づくり
- ⑨学習習慣・学習規律 など



■ 導入

■ 展開

■ 終末



■個別に学ぶ前(導入)

■個別に学ぶ場面(展開)

■個別に学んだ後(終末)

準備室





1/1 ① ほしいをかなえるために  
おもちゃをかいぞうすることができる。



かいぞうはかせ 

くらべる

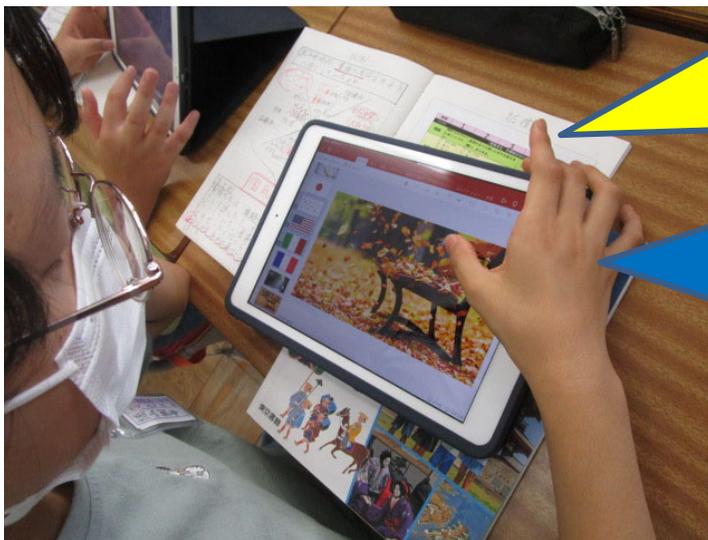
ざつよう、おもちゃ

見つける

ちがひ、いいな





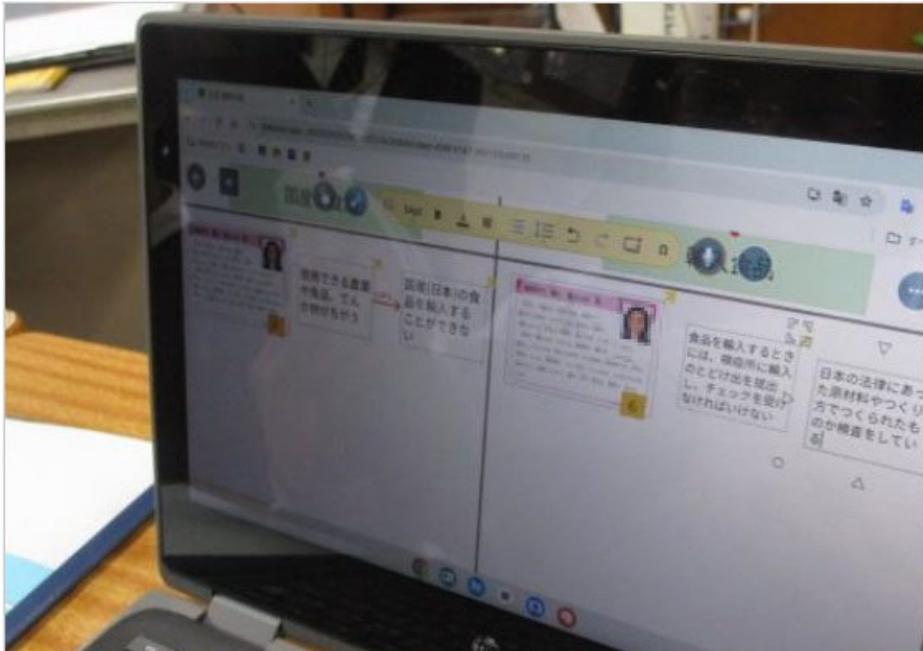


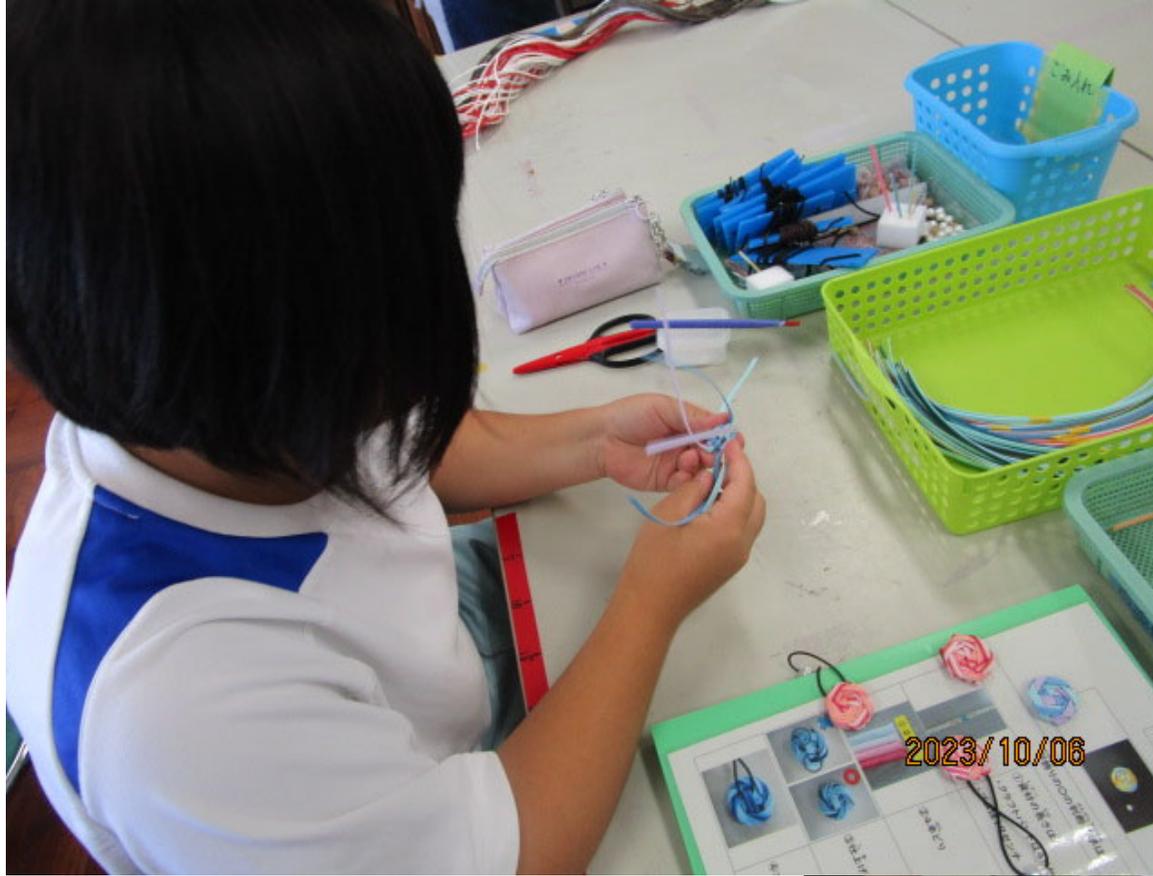
### ■個別に学ぶ前(導入)

目的や課題、見通し(ゴール・プロセス)、活用する知識(資質・能力)などを明らかにし、活動の内容や方向性を自覚する。

### ■個別に学ぶ場面(展開)

### ■個別に学んだ後(終末)





■個別に学ぶ前(導入)



■個別に学ぶ場面(展開)

確かな学びの実現に向けて学習方略を自覚し、学習環境を整える。(①習熟度、興味・関心、学習方略、認知特性などの子供の多様性に応じる ②どんな情報を、どこで、どのようにして獲得するかを設計する ③環境が及ぼす影響を視野に入れ調節する)

■個別に学んだ後(終末)











■個別に学ぶ前(導入)

■個別に学ぶ場面(展開)

■個別に学んだ後(終末)

獲得した情報(知識)を可視化し俯瞰したり、情報(知識)を交流し整理したりしながら、長めの文字言語で振り返ることで、知識が精緻化する。

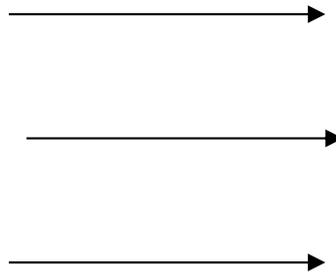
# 自律

- どのように(行為)
- どうなった(変容)

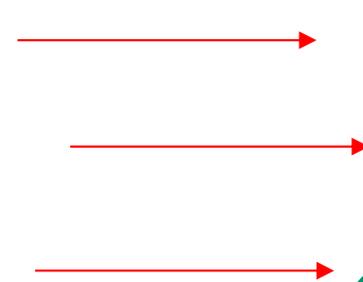
- 自覚
- 実感

PROCESS(思考)

INPUT(体験)



OUTPUT(表現:気付き)





■個別に学ぶ前(導入)

■個別に学ぶ場面(展開)

■個別に学んだ後(終末)

獲得した情報(知識)を可視化し俯瞰したり、情報(知識)を交流し整理したりしながら、長めの文字言語で振り返ることで、知識が精緻化する。さらには、変容を自覚する場面を用意し、自らの学びや成長に手応えをつかむ。

# 学習指導・学習環境の工夫(例)

## ■個別に学ぶ前(導入)

目的や課題、見通し(ゴール・プロセス)、活用する知識(資質・能力)などを明らかにし、活動の内容や方向性を自覚する。



## ■個別に学ぶ場面(展開)

確かな学びの実現に向けて学習方略を自覚し、学習環境を整える。(①習熟度、興味・関心、学習方略、認知特性などの子供の多様性に応じる ②どんな情報を、どこで、どのようにして獲得するかを設計する ③環境が及ぼす影響を視野に入れ調節する)

■教師は、導入・展開・終末の学習過程において、一人一人の子供に期待する学びが実現するよう指導性を発揮する。その際、子供の視点に立つて行うこと、多様な子供の存在を視野に入れること、直接的な指導に加えて間接的な指導も意識することなどを心がける。

教師の指導性の発揮

の学びや成長に手



「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実により  
多様な子供達を誰一人取り残さずに資質・能力の育成を図る指導性

- ①教師の意識
- ②子供の実態
  
- ③グランドデザイン・単元配列表
- ④年間指導計画・単元計画
- ⑤学習指導・授業づくり
- ⑥学習環境・場づくり
- ⑦ICTの利活用(デジタル学習基盤)
  
- ⑧学級経営・集団づくり
- ⑨学習習慣・学習規律 など

# 単元計画の工夫(例)

## ■単元計画・学習過程立案の主要な三つの要素

「学習課題(何のために)」「学習対象(何を)」「学習方法(どのように:含時間、場所)」

子供が自由に選択する場面と教師が適切に規定する場面がある。「子供の実態」や「育成を目指す資質・能力」に応じて、どのタイプで単元や学習過程を構成するかを教師は意図的、計画的に設計する。

	Type1	type2	type3	Type4	type5	type6	type7	type8
学習課題	選択	選択	選択	選択	規定	規定	規定	規定
学習対象	選択	選択	規定	規定	選択	選択	規定	規定
学習方法	選択	規定	選択	規定	選択	規定	選択	規定

## ■学習過程のパターン

■教師は、子供が選択する部分と教師が規定する部分を意識して単元計画や学習過程を構想する。その際、子供の实態や発達、教科や単元の特性、などを視野に入れて精緻に計画することを心がける。

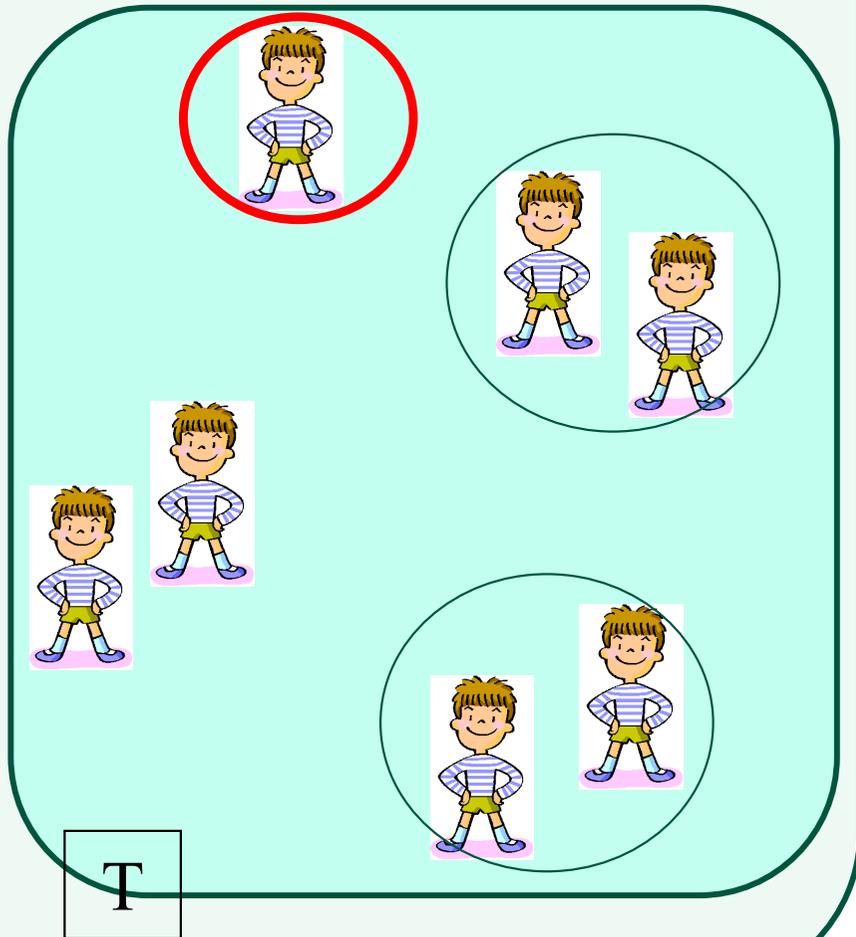
**教師の指導性の発揮**

みんな

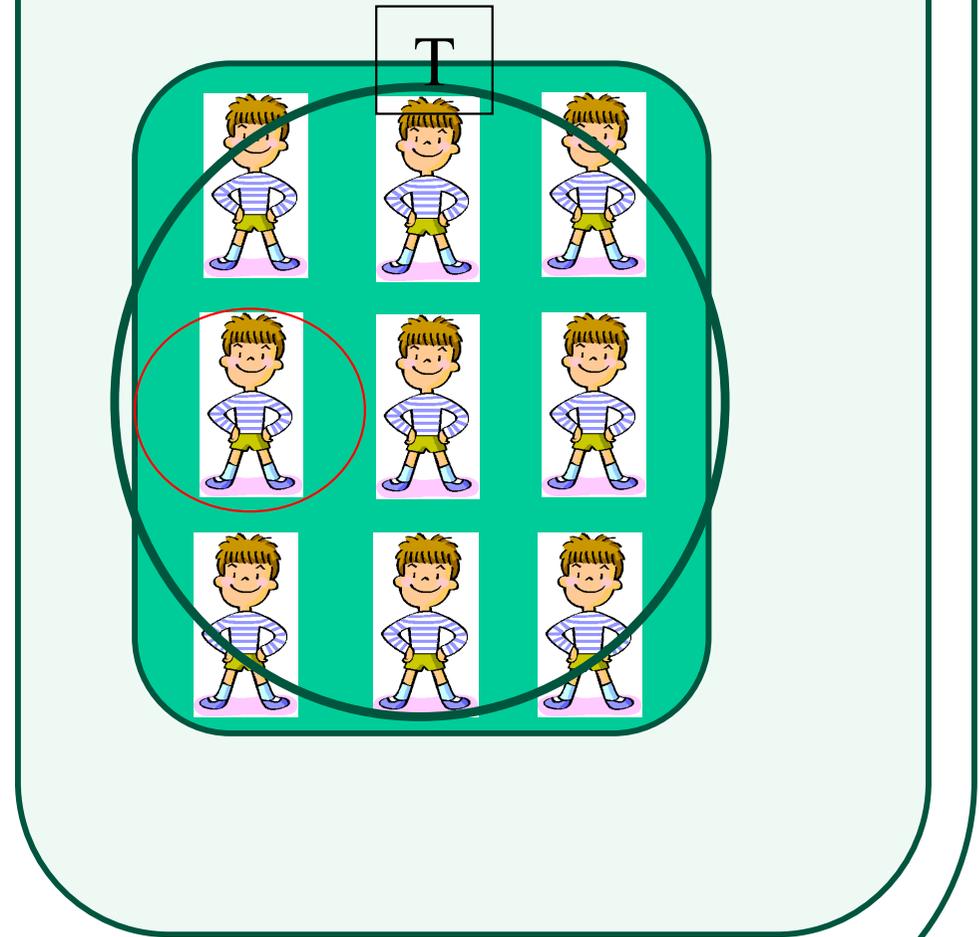


# 個別最適な学びと協働的な学び

一人一人で学ぶ  
教師の指導性



みんなで学ぶ  
教師の指導性







2023/11/25 09:38

11/25 09:45





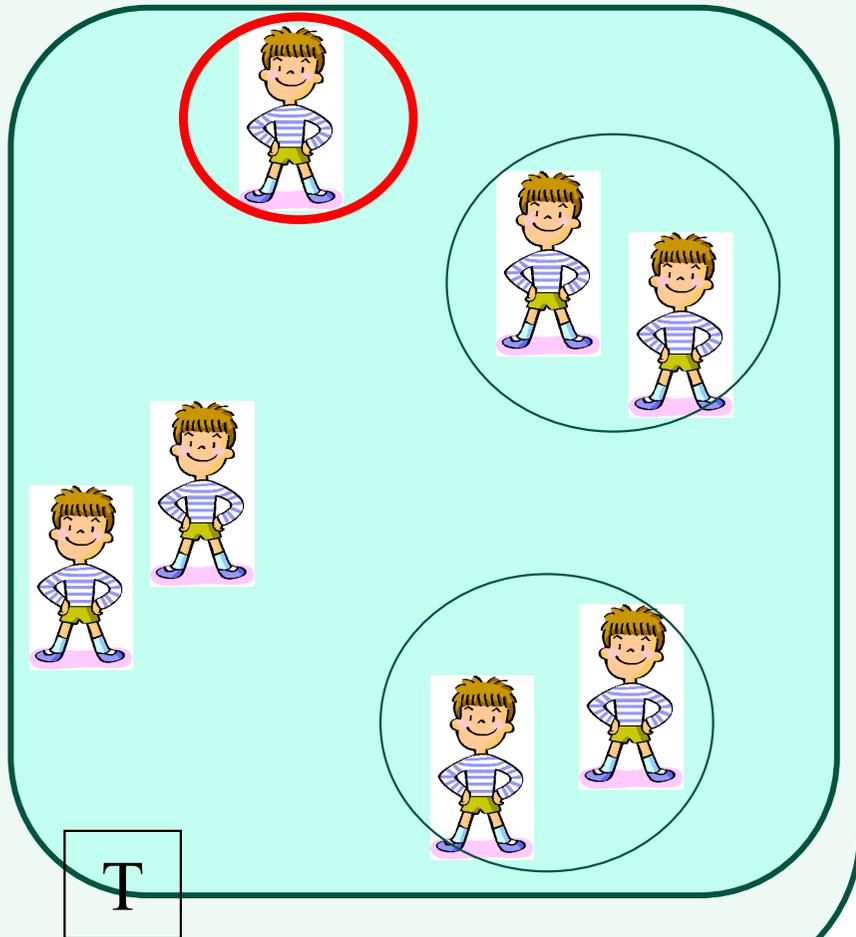




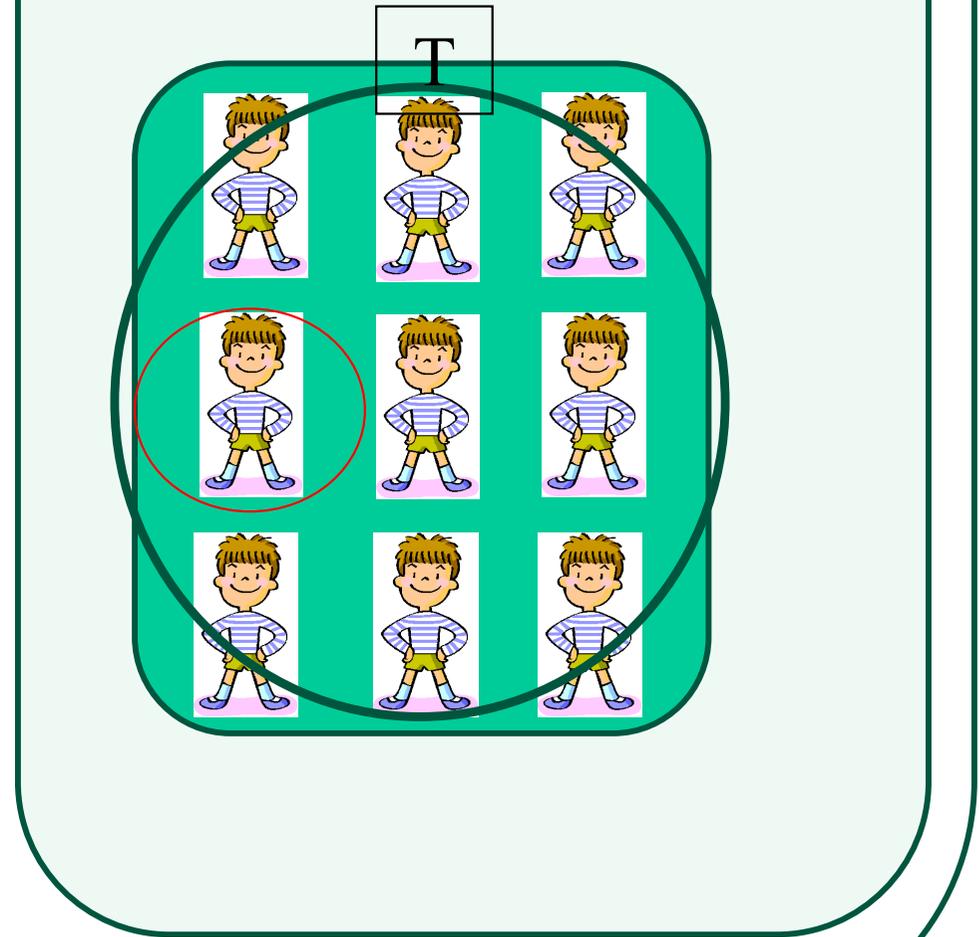


# 個別最適な学びと協働的な学び

一人一人で学ぶ  
教師の指導性

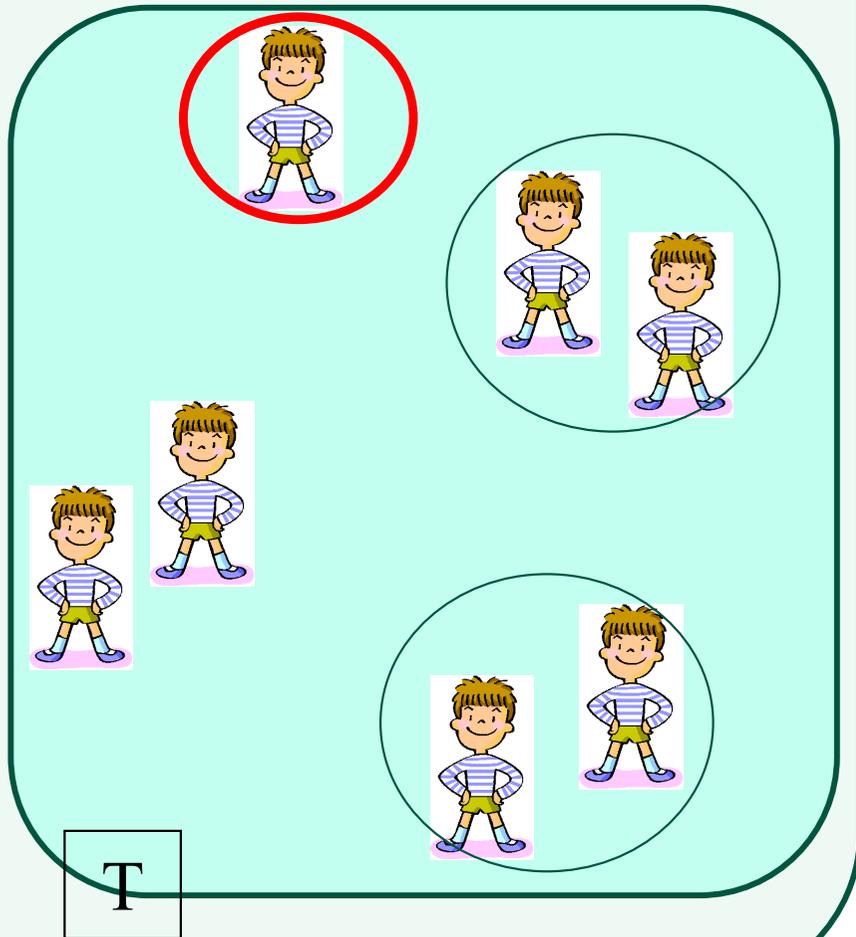


みんなで学ぶ  
教師の指導性

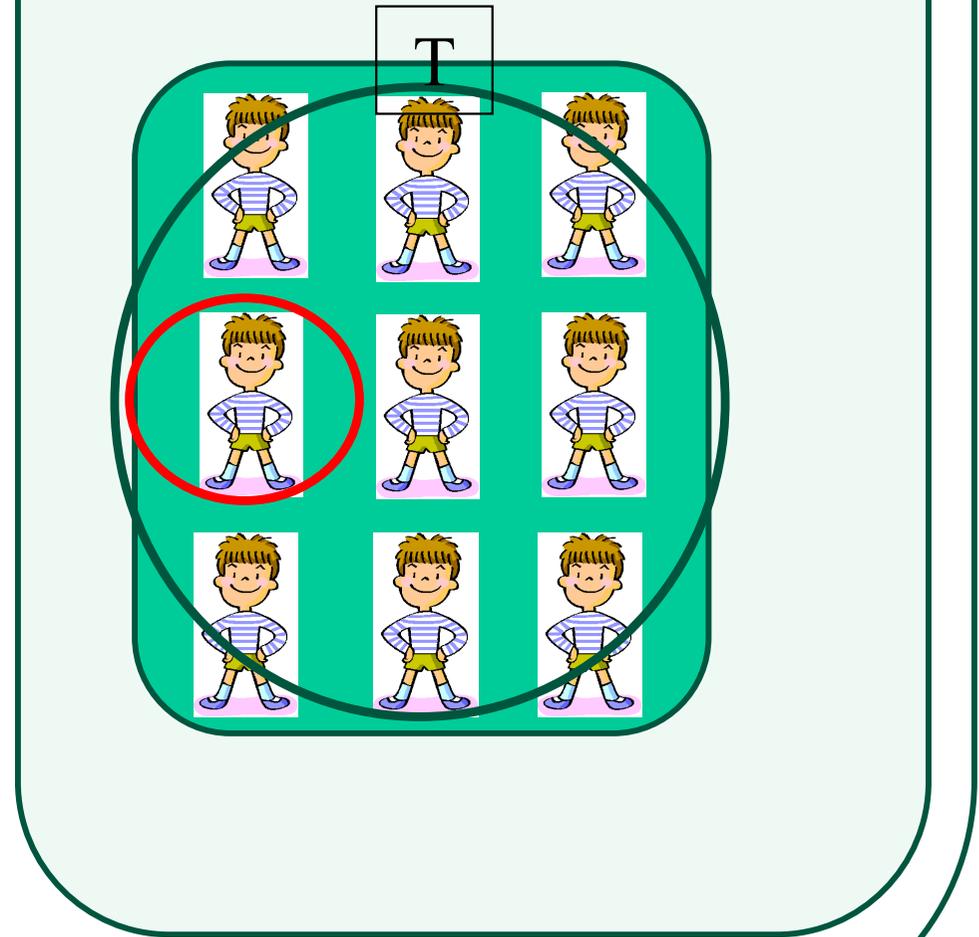


# 個別最適な学びと協働的な学び

一人一人で学ぶ  
教師の指導性

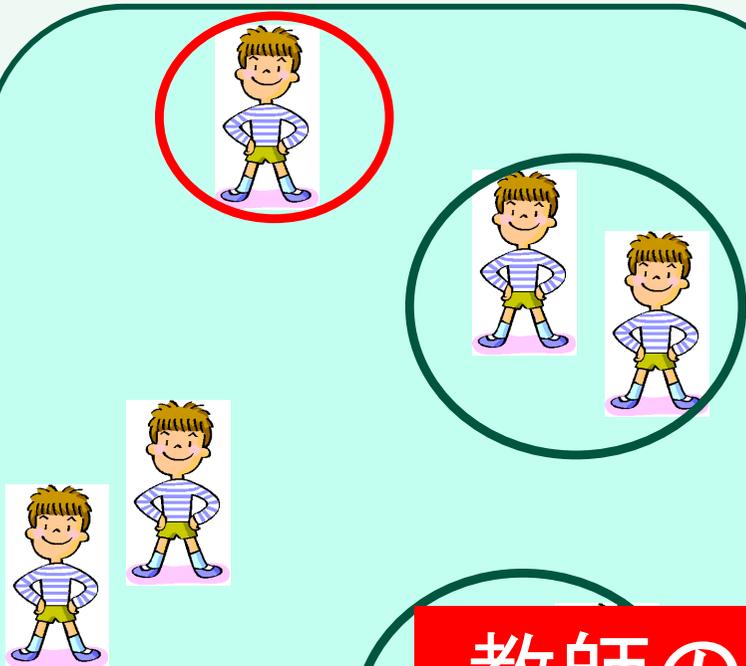


みんなで学ぶ  
教師の指導性

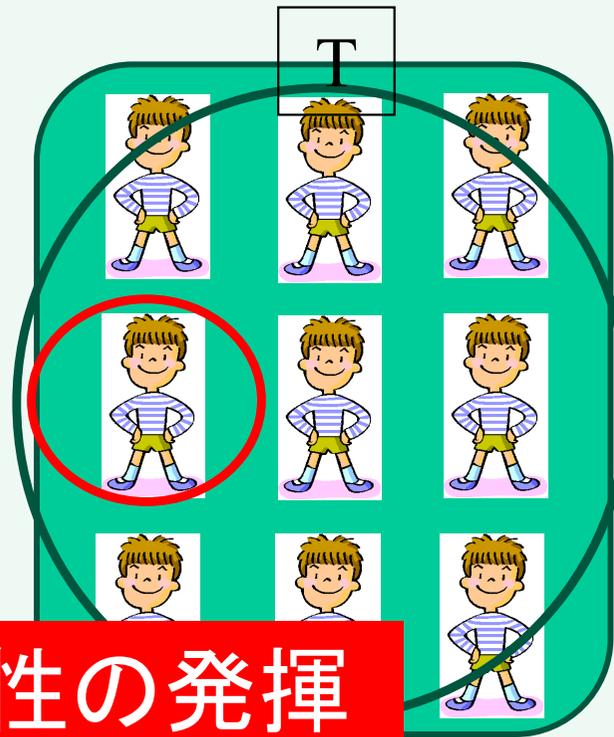


# 個別最適な学びと協働的な学び

一人一人で学ぶ  
教師の指導性



みんなで学ぶ  
教師の指導性



**教師の指導性の発揮**

■教師は、育成を目指す資質・能力を視野に入れつつ、単元計画や学習過程にみんなで学んだり一人一人で学んだりする場面を位置付ける。その際、それぞれのメリットとデメリットを視野に入れた工夫改善を心がける。



